



2019年5月29日

各 位

会 社 名 株式会社ケアサービス
(コード 2425 : 東証 J A S D A Q)
代表者の役職名 代表取締役社長 福原 俊晴
問 合 せ 先 取締役執行役員 渡辺 桂
電 話 番 号 03-5753-1170

中期経営計画の提出等について

当社は、2020年3月期～2022年3月期に係る中期経営計画を策定いたしましたので、当該中期経営計画を記載した資料を提出いたします。

なお、当該資料について、当社のホームページに掲載いたします。

URL	https://www.care.co.jp/ir/manage/strategy/
掲載日	2019年5月29日

【添付資料】2020年3月期～2022年3月期 中期経営計画（新規）

2020 年 3 月期～2022 年 3 月期 中期経営計画(新規)

1 今後 3 ヶ年の中期経営計画

(1) 当中期経営計画提出時点における前連結会計年度の総括

(計画の達成状況、成果及び今後の課題)

(内容)

前連結会計年度におきまして、国内の既存事業では、引き続き当社グループの特色である東京 23 区を中心としたドミナント戦略を推進し事業所の新規開設を進めるとともに、既存事業所の統廃合による効率的な営業展開を図ってまいりました。

また、2018 年 6 月には、「株式会社やさしい手」が運営していた訪問入浴事業の譲受を行ったことにより、現在当社グループの訪問入浴事業が展開する東京 23 区及び神奈川県横浜市の商圈にさらなる相乗効果を与えることに加えて、新たに埼玉県川口市への進出を図りました。それにより、前連結会計年度までの国内の既存事業の事業所数は、前期末比で新規出店 4（デイサービス 1、訪問入浴 1、福祉用具貸与・販売 1、エンゼルケア 1）、統廃合に伴う退店 3（デイサービス 3）の計 104 事業所となりました。

さらに、東京都が 2017 年度から開始した人材育成、キャリアパス、ライフワークバランス、職場風土などの「働きやすい福祉の職場ガイドライン」の指標を当社介護事業の都内 69 事業所が達成し、「T O K Y O働きやすい福祉の職場宣言」の認定事業所として登録されました。

海外事業においては、2018 年 10 月 19 日開催の取締役会にて、「北京福原順欣養老管理有限公司」を解散及び清算することを決議いたしました。今後は当社グループの中国事業での機能を、2015 年 8 月に中国・上海市に設立した当社 100%出資の特定子会社である「上海福原護理服務有限公司」に集約いたします。

その他の事業では、2018 年 4 月より当社グループの人材事業子会社である「株式会社ケアサービスヒューマンキャピタル」において、介護業界を対象にした人材紹介事業を開始いたしました。

以上の結果、前連結会計年度の売上高は 8,906 百万円（前年同期比 3.4%増）、営業利益は 225 百万円（前年同期比 4.1%減）、経常利益は 230 百万円（前年同期比 0.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は 94 百万円（前年同期比 20.2%減）となりました。

なお、特別損失として海外子会社の清算等に伴う債権放棄損、関係会社整理損、事業所閉鎖損失、たな卸資産評価損、減損損失を計上しております。

(2) 中期経営計画の策定の背景及び概要

(内容)

①策定の背景

介護業界におきましては、国内の高齢化がさらに進み、介護サービスの需要は高まっているもののサービスを担う人材の十分な確保が難しく、引き続き介護事業者の大きな経営課題になっております。また、2018年4月に施行された介護報酬と診療報酬の同時改定によって、全体的にサービス単価が引き下げられたことにより、介護業界を取り巻く環境は依然厳しい状況が続くと想定されます。

国内葬儀業界におきましては、葬儀の多様化により、葬儀単価は下落傾向であり、さらに新興企業の台頭により競争も厳しくなっております。中国におきましては、エンゼルケアが認識され始め、今後、市場は拡大していくと想定しております。

②中期経営計画の概要

当社グループは、2021年3月期及び2022年3月期について飛躍的成長を遂げる年度と位置付け、その準備期間として2020年3月期を中長期的な成長に向けた筋肉質な収益基盤の土台作りの最終期間と位置づけ、国内外に向けて当社グループの「介護からエンゼルケアまで」一貫したサービスを提供するための基盤構築を図ってまいります。

<介護事業>

- ・東京23区を中心としたドミナント戦略の推進及びドミナントエリア内の事業所の効率化、人員の最適化
- ・各介護サービスにおけるサービス品質の向上
- ・中国での介護事業の拡大
- ・介護・医療業界向け人材紹介及び人材派遣の拡大

<エンゼルケア事業>

- ・各地域の優良な互助会及び葬儀社と構築した良好な関係の維持・発展による営業基盤の充実化
- ・国内における事業所の拡大
- ・中国での国営葬儀場に対するエンゼルケア事業推進

<サービス付き高齢者向け住宅事業>

- ・地域に根差した営業展開を継続し、「終の棲家」としての看取り介護を実施することで、入居者のご家族にご安心いただける施設の運営
- ・24時間看護体制構築による稼働率の向上

(3) 事業の進捗状況及び今後の見通し並びにその前提条件

(内容)

当中期経営計画は新中期経営計画の初年度にあたるため、進捗状況については該当ありません。

2 今期の業績予想及び今後の業績目標

(単位：百万円)

(%表示は対前期増減率)

		2019年3月期 (実績)		2020年3月期 (予想)		2021年3月期 (目標)		2022年3月期 (目標)	
		金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	介護事業	6,321	2.8	6,436	1.8	6,961	8.2	7,615	9.4
	エンゼルケア事業	1,994	4.5	2,076	4.2	2,245	8.1	2,422	7.8
	サービス付き高齢者 向け住宅事業	591	6.7	630	6.7	629	△0.2	629	0.0
	合 計	8,906	3.4	9,143	2.7	9,837	7.6	10,666	8.4
営業利益		225	△4.1	270	19.7	378	39.9	480	27.0
経常利益		230	△0.6	274	18.7	381	39.4	484	26.7
親会社株主に帰属する 当期純利益		94	△20.2	157	66.1	228	45.1	298	30.6

- 業績予想及び業績目標の前提条件・数値根拠
(内容)

※ 2020年3月期 予想

- ・ デイサービス1事業所の新規開設を予定しております。
- ・ エンゼルケア事業につきまして、1事業所の新規開設を予定しております。
- ・ 既存事業所の稼働率・入居率向上を図ります。
- ・ 人材事業子会社により人材紹介事業の拡大を予定しております。
- ・ 上海にて介護事業及びエンゼルケア事業の拡大を予定しております。
- ・ 既存事業における周辺業務の連携の強化を図ります。

※ 2021年3月期 目標

- ・ デイサービス3事業所の純増を予定しております。
- ・ 既存事業所の稼働率・入居率向上を図ります。
- ・ 人材事業子会社により人材紹介事業の拡大を予定しております。
- ・ 上海にて、介護事業及びエンゼルケア事業の拡大を予定しております。
- ・ 既存事業における周辺業務の連携の強化を図ります。

※ 2022年3月期 目標

- ・ デイサービス3事業所の純増を予定しております。
- ・ 福祉用具貸与・販売1事業所の新規開設を予定しております。
- ・ 訪問看護サービス1事業所の新規開設を予定しております。
- ・ 既存事業所の稼働率・入居率向上を図ります。
- ・ 人材事業子会社により人材紹介事業の拡大を予定しております。
- ・ 上海にて、介護事業及びエンゼルケア事業の拡大を予定しております。
- ・ 既存事業における周辺業務の連携の強化を図ります。

以上